

海外で活躍する

シニアボランティアの体験発表会

JICA（国際協力機構）は、開発途上国の発展を支援するため、実務の経験と知識を持ったシニア（40歳～69歳）を途上国に毎年派遣しています。この人達はシニアならではの、海外旅行での体験とは違ったいろいろなおもしろ体験をしてきています。そんな話題も含めて体験を披露していただくのがこの体験発表会です。

日 時：毎月第3水曜日 15時30分～17時
 会 場：JICA 横浜 1階会議室
 会 費：無料（どなたでも自由に参加出来ます）
 主 催：NPO「シニアボランティア経験を活かす会」
 後 援：JICA横浜

問合せ先：横浜市中区新港2-3-1 JICA 横浜3階国際協力連絡室内
 シニアボランティア経験を活かす会 神奈川分科会
 Fax:045-663-3263 担当：白井道雄 045-891-5490
 Eメール：jicasvob@kme.biglobe.ne.jp



プログラム：下記の通り

講師名 (赴任国)	「タイトル」 講演概要
6月18日 (水) 鈴木俊一 (サモア)	 <p>「サモア 2001～2003」 天国に近い島サモアの風土と生活、ポリネシア文化、教育、サモアポリテクニクでの活動、サモアに不足しているもの：一若者の自己実現機会、それにどう対処したか。</p>
7月16日 (水) 森 昌植 (インドネシア)	 <p>「日・米・インドネシアの文化比較」 米国の3年間およびインドネシアの2年間の滞在を元に、自分で感じた3カ国の比較をします。教科書的でなく、音楽、高度技術、口論、葬式などを例にとって話を進めます</p>
8月20日 (水) 井上節子 (ネパール)	 <p>「ネパールの障害のある子供達と関わって～バクタプルでの実践」 カトマンズの近郊にある街、バクタプルにある障害児のデイ・ケア・センターや地域での活動。便利さとは何か？支援するとはどういうことか？子どもの笑顔に励まされた私だった。</p>
9月17日 (水) 松本正重 (中国)	 <p>「中国・重慶での1年（廃棄物処理の指導）」 重慶は直轄市で大都会、経済発展に環境問題が追いつかかかないのは昔の日本と同じ。日本の産業廃棄物技術等紹介する活動をしてきた。廃棄物管理・処理の現状と重慶の町について紹介。</p>
10月15日 須山勝彦 (ネパール・マレーシア)	 <p>「多文化共生：子供たちへの出前講座」 海外での体験をいかに子供たちに伝えるか！ 現地の写真から文化や習慣の違いを読み取る授業の実践報告。</p>
11月19日 (水) 浅川克彦 (ウルグアイ)	 <p>「僻地の小学校でのパソコン指導」 日本の裏側、気候も風土も関東と似ているウルグアイ。しかしその風土や人々は大きく違っていた。生徒数約20人の僻地の小学校でパソコンの便利さを伝えた2年間の活動をお話します。</p>